



## 職員研修会が開催されました

◆10月9日(金)、大会議室にて職員研修会が大会議室にて開催されました。  
ヒヤリハットの報告では内容についての検証があり、今後の対応についての意見が述べられました。

引き続いて、江田院長より新型インフルエンザについて、症状、予防法、どのように感染が広がっていくのかなど、患者さんへの対応も含めて詳細な報告が行われました。  
最後に、諸國理事長より、日本での看護師国家試験合格を目指しているインドネシア人看護学生2名の受け入れについて、説明が行われました。(当院では、平成22年1月より女性1名、男性1名のインドネシア人看護学生が、一般病棟に勤務することが決定しています。)



## FAT SCAN(内蔵脂肪量測定検査)のご案内

<診療放射線技師>  
<血管診療技師>  
岡本 佳樹

『メタボリックシンドローム』という言葉は、最近ではかなり定着したように思います。肥満症、特に内蔵脂肪型肥満(内臓に脂肪が蓄積した肥満)は、動脈硬化や動脈硬化につながる生活習慣病(高血圧、高脂血症、糖尿病など)の原因となっていることがわか

っています。このような内蔵脂肪型肥満によって、さまざまな病気が起こりやすくなった状態を『メタボリックシンドローム』といい治療の対象として考えられています。一見、ウエストが細く見えるような人でも内蔵脂肪が蓄積している場合もあります。

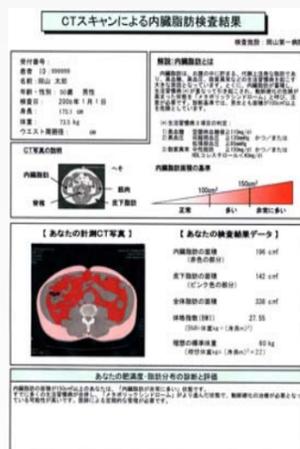
正確な内蔵脂肪を測定するには腹部CT画像で内蔵脂肪を測定しなければなりません。検査方法は簡単で、CTの撮影台に両腕を頭の上で組んで仰向けで寝てもらいほんの少し(2~3秒)息を止めておへそ周りを撮影するだけです。CT室に入室してから退出するまで5分かかりません。検査結果は右上の



CT室に入って5分程度で終了します。

用紙をお渡ししています。

「あなたの肥満度・脂肪分布の診断と評価」によって、今後どのように生活を改善していけば良いのか、具体的なコメントが表示されています。検査結果の中にはCT写真も表示され、どれくらいの内蔵脂肪がついているのか、はっきりと確かめることができるような非常にわかりやすい内容になっています。この機会に当院で内蔵脂肪を測ってみたいはいかがでしょうか。ご興味のある方は、外来受付までお問い合わせください。検査の内容について、ご案内させていただきます。(岡本 佳樹)



検査結果では、内蔵脂肪の状態を詳しく確かめることができます。

～編集後記～  
インフルエンザによる学校(保育所、幼稚園、小・中・高校)の休校と学年・学級閉鎖が、10月18日~24日の1週間で13,964校に上ったと厚生労働省より発表されました。特に大都市部(東京、名古屋、大阪)でかなり流行が本格化しているようです。新型インフルエンザに関してはワクチン数の不足など様々な問題を抱えています。政権交代したばかりの鳩山内閣、長妻厚労相には、国民の不安解消のために迅速に全力で対応してほしいものです。(S)

医療法人社団操仁会  
岡山第一病院  
(日本医療機能評価  
機構認定病院)  
岡山市中区高屋343  
電話:086-272-4088



# さいわい

岡山第一病院広報誌  
第15号  
平成21年11月15日発行  
◇ホームページアドレス  
<http://www.okayama-daichi.jp>



## 当院の今後の取組みについて

医療法人社団 操仁会  
岡山第一病院  
理事長 諸國 眞太郎

鳩山総理が所信演説の中で今回の政権交代を「無血の平成維新」と述べました。これは今までの多くの無駄や慣習を変えようとしている決意の表れだと思います。さらに、その根底に流れるのは「友愛」の精神だと繰り返し語られています。今の勢いで破綻した医療経済の荒海を乗り越え、安心・安全・効率的な医療の継続と発展することを期待しています。

岡山第一病院も開設40年を過ぎ大きく変わりました。

地域の特に障害等を持った方々の医療・看護・福祉を担うことが病院の原点であることは今も変わりはありませんが、下肢静脈瘤・そけいヘルニア・痔核・巻き爪などの疾患では地域を超え多くの方々の治療に当たっています。また、健康増進への取り組みとして特定保健指導や体操教室。社会貢献では、中国語の通訳サービス、インドネシア人看護学生の受け入れ、薬剤治験事業なども行っています。

今後も患者さんだけでなく、皆さんの笑顔のために病院経営を行ってまいりますのでよろしくお願いいたします。

## 諸國理事長が出演しました

10月9日(木)、RSK山陽放送テレビで放映中の夕方の情報番組「イブニング Don Don」(月~金 16:52~)に諸國理事長が出演しました。今回のテーマは「巻き爪治療」。超弾性ワイヤーを使った治療法などが紹介されました。

次回は、12月に出演されます。  
◇次回出演予定:RSK山陽放送テレビ「イブニング Don Don」12月10日(木)16:52~



RSK山陽放送の情報番組『イブニング Don Don』10月9日放送分より

### 第15号の記事

- ◇ 江田院長の記事が山陽新聞に掲載されました
- ◇ 新型インフルエンザへの対応について(院長 江田 泉)
- ◇ 理学療法士、羽井佐の体操講座(理学療法士 羽井佐 晋治)
- ◇ FAT SCAN(内蔵脂肪量測定検査)のご案内(診療放射線技師 岡本 佳樹)

●基本理念●  
患者さんの声に耳を傾け、こころ通じあう医療  
—皆様の笑顔のために—  
●基本方針●  
患者さんの視点に立った安全で質の高い効率的なサービスの提供  
医療・看護・福祉および健康増進のトータルヘルスケアサービスの提供

# 江田院長の記事が山陽新聞に掲載されました！ (医療・健康面 9月14日付)

## 鼠径ヘルニア メッシュ手術

膨らみは当初、ピンポン球ほどで柔らかく、指で押すと引っ込むが、次第に大きくなり、違和感や軽い痛みを感じることもある。「怖いのは、はみ出した腸が出口部分で締め付けられ戻らなくなる嵌頓。まれに起こり、激しい痛みがある。腸閉塞や

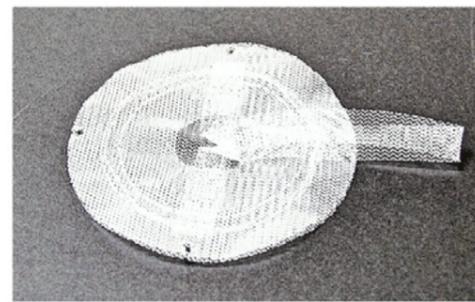
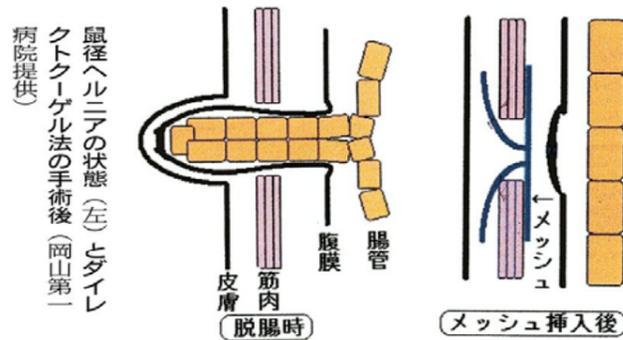


岡山第一病院  
院長 江田 泉

(中浜隆宏)

脚の付け根辺りの鼠径部が膨らむ鼠径ヘルニア(脱腸)。腸が筋膜(筋肉)のすき間から皮膚の下にはみ出すのが原因で、網目状の合成繊維のメッシュですき間をふさぐ手術が近年定着している。岡山第一病院(岡山市中区高屋)の江田院長は「従来の手術に比べ再発が減り、術後の痛みも少ない」と効果を語り、日帰り手術も手掛けている。

# 痛みと再発が減少



ダイレクトクーゲル法の手術で使用するメッシュ。ストラップは筋膜との固定に使う

江田院長は「ヘルニアに悩んでいる人は多い。患者の体の負担が軽く、仕事を休む期間も短い手術が広まっており、気軽に受診してほしい」と呼び掛けている。

メッシュを入れ、さらに別のメッシュで覆い補強する。一方、江田院長はダイレクトクーゲル法という方法を2005年から採用。鼠径部を4〜5センチ開いて、はみ

## 日帰りも実施

## 「気軽に受診を」

壊死の恐れもあり、緊急手術が必要」と江田院長。「鼠径ヘルニアは自然には治らず、治療には手術しかない」と注意を促す。従来の手術は筋膜を縫い縮め、すき間をふさぐ方法。だが、術後の痛みが強く、入院期間が1週間以上かかる。患部が突っ張る感じも残った。さらに、重い物を持った際などに縫い目が裂けることがあり、再発率は10〜15%と高かった。これに対し、十数年前から広まったのがメッシュ手術。メッシュの形や手術方法が改良され、再発率は今や1%程度に下がった。最も多く使われているプラグ法は、筋膜のすき間に傘状の

出した腸を戻した上で、腸を覆う腹膜と筋膜の間に直径7・5〜10センチのメッシュを入れ、すき間をふさぐ。「理論的にはメッシュが腹圧でより強く固定され、広い範囲をカバーできるため再発しにくい」という。手術時間は40〜50分程度。江田院長は硬膜外や静脈、局所麻酔を組み合わせて、術後に麻酔がすぐさめるようにしているほか、手術方法や痛み止めの投薬を工夫する

# 新型インフルエンザへの対応について



岡山第一病院  
院長 江田 泉

## ■県内でも急速に拡大の兆し

この原稿を書いている10月末に、岡山県内でも新型インフルエンザの流行が急速に拡大しています。10代以下が約9割に上っており、子供の感染が深刻化していますが、これからは子供を介した家族感染などで、流行はさらに拡大する可能性が高いと考えられています。当院でも日増しにインフルエンザの患者さんが増えてきている状況で、「タミフル」投与などの治療を行っています。

## ■当院のワクチン入手状況について

当院も新型インフルエンザワクチンを皆様に接種できるよう国に申し込みをしていますが、現時点でワクチンがいつどれくらい当院へ入ってくるかは全く未定であり、流行のピークに間に合わない可能性も高いと考えられます。

## ■感染を予防するために

インフルエンザの感染を予防するためには、手洗い、うがいをしっかりとすることが大切です。手洗いは外出後だけではなく、可能な限り頻回に行いましょう。また、ウイルスは粘膜を通して感染するため、極力鼻や口などを触らないようにしましょう。咳、くしゃみの際の「咳エチケット」も感染防止の上では大切です。咳やくしゃみ等の症状のある人には必ずマスクをつけてもらいましょう。(江田 泉)



理学療法士  
羽井佐 晋治



## 理学療法士、羽井佐の体操講座



～理学療法士、羽井佐晋治より短時間でカラダがすっきりする健康体操をお教えします。仕事、家事、勉強の合間など空いた時間で5分程度、無理せずゆっくりとおこないましょう。～

(1)首から肩



首の後ろで、一方の肘をもう片方の手で引っ張る(左右)

(2)肩の前側～胸



両手を後ろで組んで、胸を張る

(3)胸から手首



指先を下にして手のひらを壁につけ、肘を伸ばす

(4)体側



両手を腰に置いて、左右に腰を突き出す

(5)お腹



両手を腰の後ろに置いて、腰を前に押し出す

(写真のモデルは理学療法士 菊川 智)